



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)FAC-宮の森3-10MS	階数	地上4F
建設地	札幌市中央区宮の森3条10丁目16-1	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域・24M高度地区・景観計画区域・宅造造成工事規制区域	平均居住人員	84人
気候区分	2地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2017年2月1日
敷地面積	1,149 m ²	作成者	
建築面積	689 m ²	確認日	2016年11月22日
延床面積	2,757 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項	
総合 閑静な住宅街であるので 低層のファミリー向け共同住宅として設計した。	A 省エネルギー 省エネルギー措置届出書により適切に配慮。
B 省資源等 無駄のない構造物(鉄筋コンクリート造、壁式)として設計した。	D 雪処理 駐車場、アプローチは全てヒーティング敷設とした。
C 緑化 札幌市緑の保全と創出に関する条例に則り適切に可能な限りバランスよく植樹を配置した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される